
からふるわーどっ！！

AM ヴィス TO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

からふるわーるどっ！！

【Nコード】

N8835Z

【作者名】

AM ヴイス TO

【あらすじ】

その世界は俺に何をくれるのか。俺はその世界で何をするのか。色にあふれ、色を基軸とするその世界で、俺は家族を手に入れ、仲間を手に入れ……。そんなこんなでやってる今日もみんな楽しくていいなって思っっちゃうのが俺なんだけだな！
心の色でモンスターなどと心友^{しんゆう}を結び戦い旅をする世界へのトリックプ系らびゅこめでー！

序話

「すみません。はい。ありがとうございました。はい、では。」

「ふう・・・」

親戚の電話をおえて、俺は居間のソファに崩れ落ちた。未だに実感がわかない・・・。

「死んじまったん・・・だよな・・・。オヤジ・・・。」

オヤジが病気で死んでしまっってから一週間。親戚は心配してくれて電話やいろいろな世話を焼いてくれる。

母さんは俺が小さい頃にもともと病弱気味だったためなくなってしまった。それから男手一つで俺を育て上げてくれたオヤジこと黒乃^{くろの}隆^{たかし}は俺、遼^{しやう}が高校に上がってすぐ病気を患った。

「俺も母さんのところへ行くときが来たのか・・・。」なんてつぶやいていたが・・・。死んだ時は、言い方はおかしいかもしれないが、すごくあっさりとしていた。大切にしていた母さんとお揃いだったという水晶のはまったバングルを俺に渡したかと思うと、ゆっくりと息を引き取った。

「なんとか・・・やってみるしかねえな・・・。うしっ!」

パシッと頬を叩いて立ち上がる。俺は机の上においた二人のバングルを手に取り部屋へ向かった。

部屋に入ると、黒い煙が揺れていた。

「っ！！火事か！！？」

いや、ちがう。

それは、まるで炎のようにゆらめき、しかし深みの見えない黒さを
持っていた。

「なんだ・・・これ・・・」

思わず俺は手をだしてしまった。

俺の手が触れた瞬間、その煙のようなものは俺の腕にまとわりつき
全身を覆うかの勢いで俺の体に迫ってきた！！

ッ！！

声を出す暇もなく、俺はそれに飲み込まれてしまっていた。最後に
見たのは黒のなかにある真っ白な温かみを持つ煙だったというのを
俺はしばらくは思い出せなかったのも仕方なかったんだと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8835z/>

からふるわーどっ！！

2011年12月27日20時45分発行